

【農林水産省 令和8年度農作物鳥獣被害防止対策研修】

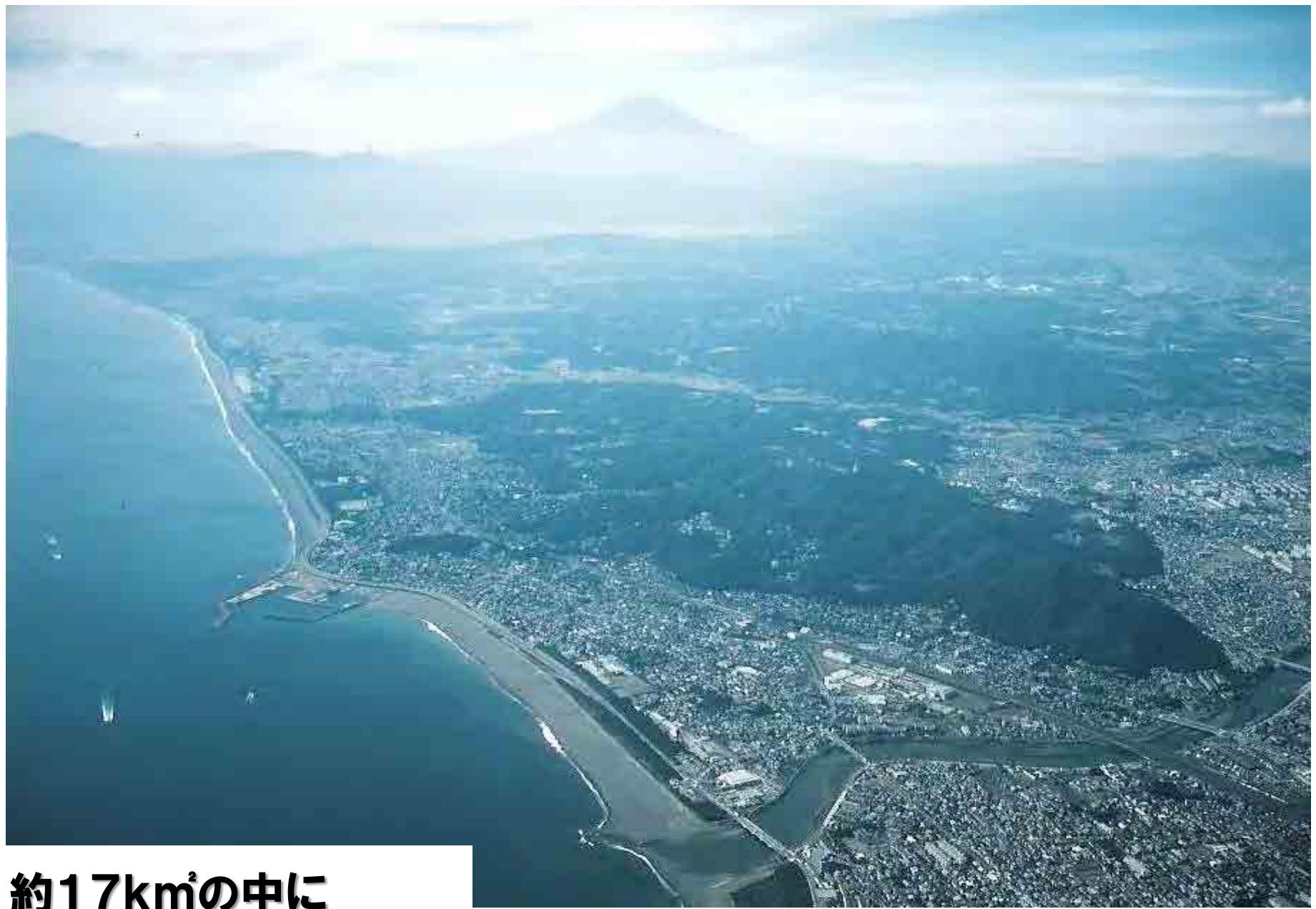
自治体における鳥獣対策の実際

～神奈川県大磯町の取り組み～

令和8年7月8日

大磯町産業観光課

弘重 穰



約17km²の中に

森・川・海・田畑 と まち・むら が コンパクト に凝縮する町



【所要時間】

【新宿駅から】	新宿→大磯	1時間5分
【東京駅から】	東京→大磯	1時間5分
【横浜駅から】	横浜→大磯	36分
【藤沢駅から】	藤沢→大磯	16分
【小田原駅から】	小田原→大磯	16分

都心の通勤圏に
豊かな自然

■ 総人口：約30,500

■世帯数：約12,000

■ 高齢化率：約34%



野生鳥獣の
農業被害・生活被害が
里山とその周辺で発生

イノシシ、ニホンジカ、
ハクビシン、アライグマ、
カラス、ヒヨドリなど

鳥獣害 なぜふえている？ どうしたらいい？

野生鳥獣の暮らしやすい環境になった

- ① 自由に食べられる「えさ」が増えた
- ② 安心して居られる「ひそみ場」が増えた



町中で野生鳥獣に「餌付け」している状態

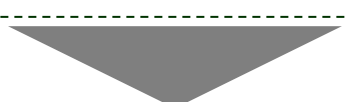


鳥獣害 なぜふえている？ どうしたらいい？

捕獲に依存した対策はダメ

- きわめて高い捕獲圧がかかっても、**好適な生息環境下では個体数増加を抑止できない可能性が示された。**
- 捕獲のみに頼った対策は、**労力と出費の無限地獄に陥る危険あり**

（小寺祐二（2011）「イノシシを獲る」より）



鳥獣を寄せ付けない・増やさない地域づくり

正しい対策を地域全体に普及し
住民主体で農地・里山の適正な活用・管理を進め
「えさ」と「ひそみ場」を減らす

対策は**順番**が大事！

- ① まずは、地域みんなで勉強
- ② 守れる畑 / 地域に環境改善
- ③ 個人でできる囲い
- ④ 捕獲・大規模広域柵（個人でできない事）

④から始めると、「対策は誰かにやってもらうもの」
と思う人を増やしてしまう

①依存からの脱却

駆除依存・行政依存ではうまくいかない

⇒住民主体・地域ぐるみで鳥獣を寄せつけない・増やさない

②正しい知識・技術の普及

被害を防ぐ方法はあるのに、間違った対策で問題がこじれる

⇒地域みんなが学べる場、知識・技術を普及する人員体制が必要

③プラスの「動機づけ」の設定

被害対策だけでは負担感が積もって地域が疲弊

⇒「マイナス」を「ゼロ」にするだけでなく「プラス」に

④「問題解決型」から「価値創造型」へ転換

鳥獣害対策は目的ではなく手段

⇒農林業振興・地域活性につながる取り組みが必要 8

■本日の話題提供

1. 住民の主体性を後押しする

すべては「みんなで勉強」からはじまる

2. 地域に多様な価値を創る

地域創造的アプローチによる鳥獣害対策

★地域資源の活用

- ・農地の活用
- ・里山林の活用

★相互にメリットをもたらす連携

- ・地域間の連携
- ・産官学民の連携

みんなで勉強：H27年度から鳥獣対策講習会を実施

座 学

集落点検

実 習

- ①環境整備
- ②圃場管理

話し合い
(ワークショップ)



営農管理的アプローチによる鳥獣害防止

【鳥獣害の防止】

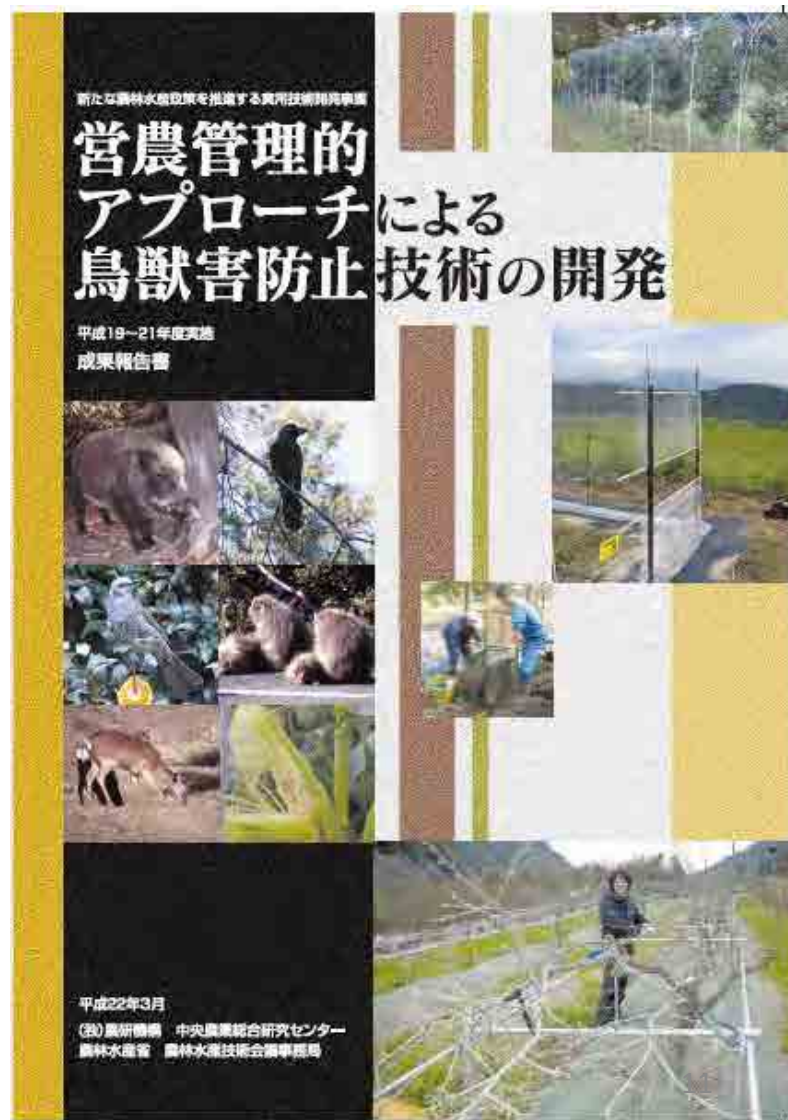
防除柵の設置
鳥獣を寄せつけない営農



【営農管理の向上】

良品・多収化、収益向上
軽労化、コスト削減など

農研機構 中央農業総合研究センター
新たな農林水産政策を推進する
実用技術開発事業
(平成19～21年度実施)



柵の設置

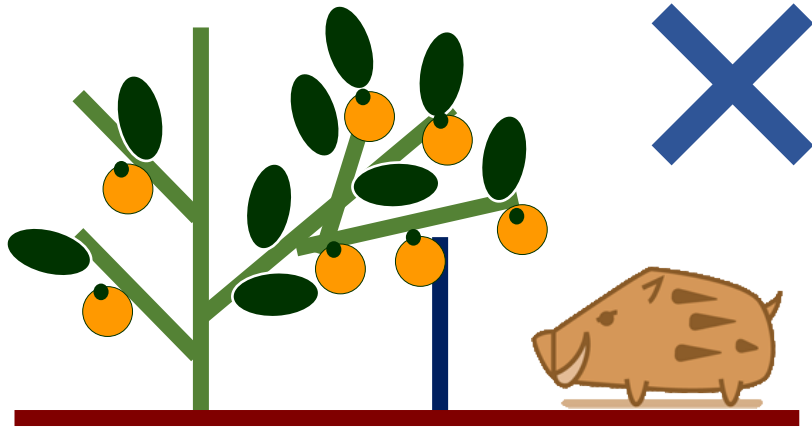
対策は**順番**が大事！

柵を設置する前に、「**守れる畑**」に改善

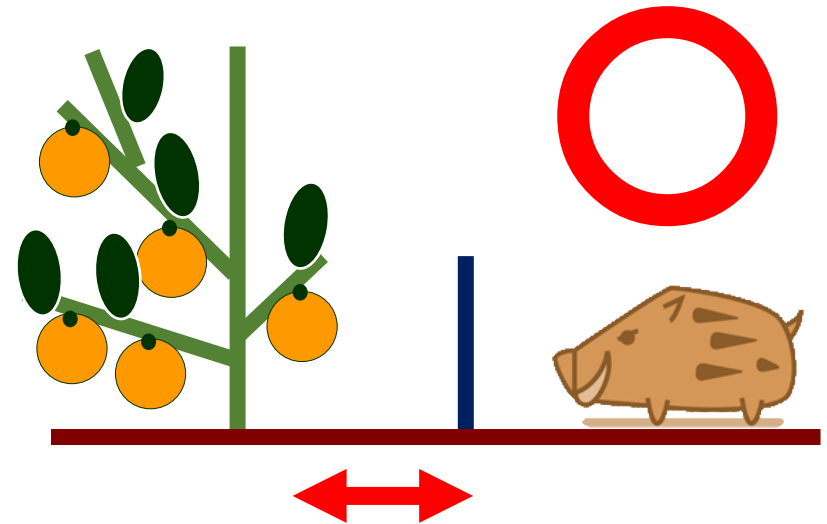


柵の外に果樹の枝が出ないように、**樹形を改変**

柵の設置



柵があっても「餌付け」
⇒柵の効果減



柵と作物の間にスペース
⇒柵が適切に機能

農業の普及指導員
との連携が重要

効果的に枝を減らす
⇒作物の良品化

果樹の防獣ネット設置



果樹の低面ネット栽培

腰の高さで、ネットかけやすい¹⁴
剪定・摘果・収穫などの軽労化

鳥獣被害防止総合対策交付金 広域柵整備



★全体的な整理

- ・電気炉の場合は、操作者全員が安全管理に注意を払う必要がある。誰かが安全管理を怠ると全体に影響するため、電気炉に電気がかかることと電気炉の機能を低下する。
 ・ワイヤ・ネットワークは、設置に電力がかかる。
 ※どこで、何の設備の何を設置するか検討をお願いします。
 ※どこでデータを設置するか検討をお願いします。

※どこで、何の設備の増設が必要するか検討をお願いします。
※どこにゲートを設置するか検討をお願いします。

■柵の設置ライン ポイント1

- ※欄を一部斜面に設置する箇所がある。
- 道端から野生動物が案内へ飛び込んできて侵入する可能性あり。
- 道端沿いの観覧者が多いため、観覧者のためのゲートが必要。
- 欄を必要で囲ったため、久保田町に一体化して設置が期待できる。
- バウンス = 柱の間を通して一定の高さまで
- 道端から野生動物が案内へ飛び込んできて侵入する可能性あり。
- 欄を越えようとするため、観覧者の時間がかかる。
- 壁面に設置するため、設置しやすさや設置する必要がある。
- 北海道各地は、地味な自分で設置する必要がある。

■棚の設置ライン ポイント2

- ② パターン1 可変を固定、下図のように設置一箇所を
・出入ラゲートは1箇所に限ることが出来る。
・室の通行や取捨する人の来方向が異なるように高さや幅、一般の
の区隔が分かるような工夫が必要。
③ パターン2 可変を固定、設置の位置上下に設置一箇所を
・敷地ごとに入出ラゲートの設置が必要となり、洋室洋室による管
・ゲートが揃うような状況が好くなく、固定される可変が揃うよう

■冊の設置ライン ポイン

- ・水路フェンス1〜2枚に網を渡して設置する。
- ・網をフェンスにくっ付けて設置できるか確認が必要。
- ・水路から樹木が生えている箇所は、フェンスの高さまでの網を設置すれば問題ない。

■書の設置ライン ポイント5

- ・種と作物の間が、人一人歩ける幅（70cm）で設置していく。
- ・圃地の管理がしやすいように、ゲートを数箇所設置する。

■ 樹の設置ライン

- ・陸道上に設置する。

■ ⑦の設置ライン ポイント7

- ・ワイヤーメッシュ網であれば、水漏れに設置。
- ・電気網であれば、スペースが狭いので、側を敷地面に設置する必要がある。
- ・壁と作物の間には、人が一人歩ける幅（70cm）を確保する。

設置ライン ポイント8

- 煙を壁の中に入れて良いか、地主と調整が必要。(町議紀) =
- 1 地主の了解が得られれば適合→市役所
- 2 地主の了解が得られれば適合→市役所
- 煙の出入口は、燃料があるため、平らな箇所に煙を設置する。¹⁾
に設置すると、煙の下部分に空間ができてしまうため。²⁾

Diagram illustrating the distance from the deer to the fence (栅栏) and the person to the fence. The deer is 60cm from the fence. The person is 180cm from the fence. The ground is labeled 畦道 (Bed path).

各地点の
注意事項を
整理した資料を
関係者に配布



この白菜を作った人
ただ者ではない！

「宝さがし」の集落点検

「アラさがし」では地域をくじけさせてしまう

荒廃地の整備

【住宅地の生活被害対策】

獣害講習会をきっかけに
住民有志の主催で
裏山の荒廃地を整備
(2015年から毎年継続)



【講習会の内容】

- ・動物の基本的な生態と被害対策
- ・草刈り機、ハサミなど道具の使い方
- ・みんなで作業する心得



動物の勉強だけでは
地域は動かない！



100歳まで楽しめる農業

- ◆高齢でも、剪定・収穫が楽にできて、良品多収
- ◆無理なく農業を続けられて、「健康づくり」に繋がる

大磯の森林の状況

- ◆町面積の約1/3・約500haが森林。
- ◆人工林は1割。その他は広葉樹等の里山林。
- ◆かつては薪炭林として利用。現在はほぼ放置状態。
- ◆町内に森林組合なし。森林管理の担い手不足。

里山林に人手が入らないことで様々な問題が発生

・野生獣の生息域拡大

・林縁部の倒木被害 ・農地の日照悪化 など

自伐型林業＝小さい林業の推進

- ① 広葉樹林の活用
- ② 薪のある町づくり
- ③ 兼業・副業型の林業

◆ 里山林から「小さい経済」を創出

整備だけではなく、小さくとも経済的価値の創出を目的とする

◆ 町の魅力の向上

都心に近い立地で、自然に密着した仕事に従事できる町

チェーンソー取扱



作業道



里山林を活用する 担い手の育成研修

森林環境
譲与税
を活用

伐倒



座学



鳥獣害対策

獣がひそみにくい環境



サラリーマンの週末林業



薪の販売



エネルギーの地産地消



ふるさと納税



木工作家との連携



多様な価値創造

里山の古道を復活する活動

鳥獣害対策

人が頻繁に
里山に入って
獣を寄せつけ
ない状況へ

大磯古道山道つなげ隊

大磯を山道でぐるっとつなげたい！

つなげ隊は毎週水曜日に、
大磯の山に入って
活動しています。



山道整備の講習会



多様な価値創造

歩いて楽しいまちづくり

獣害対策 × 里山活動 × 女性活躍



【主催】大磯町有害鳥獣対策協議会
【問合せ】事務局 大磯町産業観光課
電話:0463-61-4100(内線262)
メール: sangyo@town.oiso.kanagawa.jp

事前申込不要

一日目

令和6年3月16日 土
13:30~16:30
大磯町役場 保健センター2階

第1部 基調講演

「女性がやれば
ずんずん進む獣害対策」

講師 井上 雅央 氏
(元 近畿中国四国農業研究センター
鳥獣害研究チーム長)

第2部 活動発表

「大磯町内の里山活動
～思いがけず!? 獣害対策～」

オダギリ ミホ 氏
(大磯古道山道つなげ隊)

板倉 仁美 氏
(里山をきれいにする会すもあ(薪屋大磯))

石原 和子氏・大西寛美氏・小野一恵氏
(獣害対策 台町地区住民有志)

第3部 パネルディスカッション

二日目

令和6年3月17日 日
小雨決行 9:30~11:30

中尾公園に集合 [東小磯695-6
※裏面地図参照]

現地講習 集落点検 × 里山散策

講師と一緒に里山を散策しながら獣害
対策や里山整備のポイントを学びます。

R6年3月 シンポジウム開催

思いがけず!? 獣害対策

鳥獣害対策を目的にしていな
い活動が、対策に繋がってい
ることに光をあてる



鳥獣害対策に
新たな広がりをつくる



大磯町 と 島根県美郷町の 地域活性化に向けた包括的連携 (ビーチ & バレー協定)

美郷町

- 獣害対策の先進事例として全国から多くの視察が来訪
- 鳥獣被害対策優良活動表彰で農林水産大臣賞(H24年)
- 鳥獣対策をきっかけに地域が活性化
- 鳥獣対策を町の売りにした「美郷バレー構想」を推進



R3年11月10日協定締結式

大磯町と島根県美郷町の 地域活性化に向けた包括的連携 (ビーチ&バレー協定)

大磯

先進的ノウハウや
多様なネットワークを
美郷町から導入

価値創造型の
鳥獣対策の展開

捕獲体制の改革

関係する
産官学民の
活動活性化

大磯産品と
美郷ジビエの
コラボ商品

美郷

首都圏近郊の
消費地で
美郷産品の
販路拡大

獣害研修の
受入れにより
来訪者の増加

相互の強みを活かした相乗効果

大磯町と島根県美郷町の
地域活性化に向けた包括的連携
(ビーチ&バレー協定)

都市と農村の互恵関係の再生

首都圏
都市近郊



地方
山村地域

相互の強みを活かした相乗効果

大磯高校・麻布大学・大磯町の 人と動物と環境の共生に向けた連携と協力



R7年1月24日
協定締結式

【連携テーマ】 鳥獣害対策・環境保全・一次産業振興など

獣のひそみ場になる荒廃地の整備



高校・大学の参加で、
初めて夏の整備ができた!!



多様な価値創造

コミュニティ・楽しい場づくり

住民主催の交流会

地域活動に参加



援 農



里山整備

野生動物調査

調査報告



センサーカメラ



大学教員から高校生へのレクチャー



加工品開発



大磯マコモ



磯姫牛メンチ

地域の課題 × 高大の教育・研究

高校の活動 × 大学の専門性

地域の力 × 若者の活力と発想

大磯高校生が美郷町を訪問 麻布大フィールドワークセンターの獣害対策研修を受講

フィールドワークセンター



座学



捕獲見学



モデル圃場見学



高校生が先進地に学んで
大磯町での活動に活かす

計画発表



獣革クラフト体験



■まとめ

- ・鳥獣害対策のキモは、「えさ」と「ひそみ場」を減らすこと。この実践を地域の多様な価値と結びつけて「問題解決型」から「価値創造型」への転換が重要。
- ・そのためには「人づくり」が重要で、全てののはじまりは「みんなで勉強」から。実践的で多様な学びの場の設定が重要。
- ・その推進に必要な3つの役割
①ファシリテーター ②キュレーター ③ネットワーカー

※本日の報告
の詳細は
こちら⇒⇒⇒⇒



都市と農村
を結ぶ誌
2022.6月号



大磯町HP